

研究課題名	B 型慢性肝疾患患者における PreS1 値と治療効果・予後との関連
研究責任者名	広島大学大学院医系科学研究科消化器内科学 教授 岡 志郎
研究期間	許可日 ~ 2028 年 3 月 31 日
対象者	<p>2021 年 1 月 8 日～ 倫理委員会承認日の間に、広島大学病院消化器・代謝内科に通院された B 型肝炎患者さんのうち、「肝臓疾患の研究のためのデータベース登録 (E 疫-726)」で試料・情報の二次利用についての同意をいただき、「消化器「B 型肝炎患者における PreS1 測定の有用性についての検討 (E2020-2323)」にて PreS1 の測定が可能であった患者さんを対象とします。</p>
意義・目的	<p>B 型肝炎患者における PreS1 測定の有用性に関する情報は少ないです。この研究により、その臨床的有用性(抗ウイルス療法導入の必要性の有無、肝組織炎症、線維化の程度の予測、肝細胞癌発症のリスクの予測に有用かどうかなど)について評価を行います。</p>
方法	<p>本研究は、PreS1 の測定結果と診療録(カルテ)情報を調査して行います。カルテから使用する内容は年齢、性別、HBs 抗原消失の有無、核酸アナログ治療の有無、その他治療歴、肝生検結果、肝臓癌発症の有無およびその発症日、既往歴、予後、血液検査結果です。個人を特定可能な情報は解析に用いません。取得した情報は、氏名・住所・生年月日等の個人情報を削り、代わりに新しく研究用の符号をつけ、どなたのものか分からないようにして研究に用います。</p>
共同研究機関	ありません
試料・情報の管理責任者	広島大学大学院医系科学研究科消化器内科学 教授 岡 志郎
個人情報の保護について	<p>調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。</p> <p>研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されていた場合には、提供していただいた情報や、試料に基づくデータを結果から取り除くことができない場合があります。なお公表される結果には、特定の個人を識別できる情報は含まれません。</p>
問合せ・苦情等の窓口	<p>〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3 Tel : 082-257-5193</p>

広島大学病院消化器内科	職名	教授	岡 志郎
		助教	藤野 初江